

取扱説明書

MW-33000S

製造元 株式会社 A C M

このたびは、
当社のMW-33000Sをお買い求めいただきまして
ありがとうございます。

いつまでも安全に、快適にご使用いただくために、この
取扱説明書を最後までお読みください。

製品仕様は予告なく変更する場合がございます。

目次	
ご使用上の注意	2
各部の名称	3
基本的設置方法	4
バルブ操作方法	6
1. 逆洗浄バルブ操作方法	7
2. 洗浄バルブ操作方法	8
3. 平常バルブ操作方法	9
4. バイパスバルブ操作方法	10
水の検査方法	11
仕 様	11

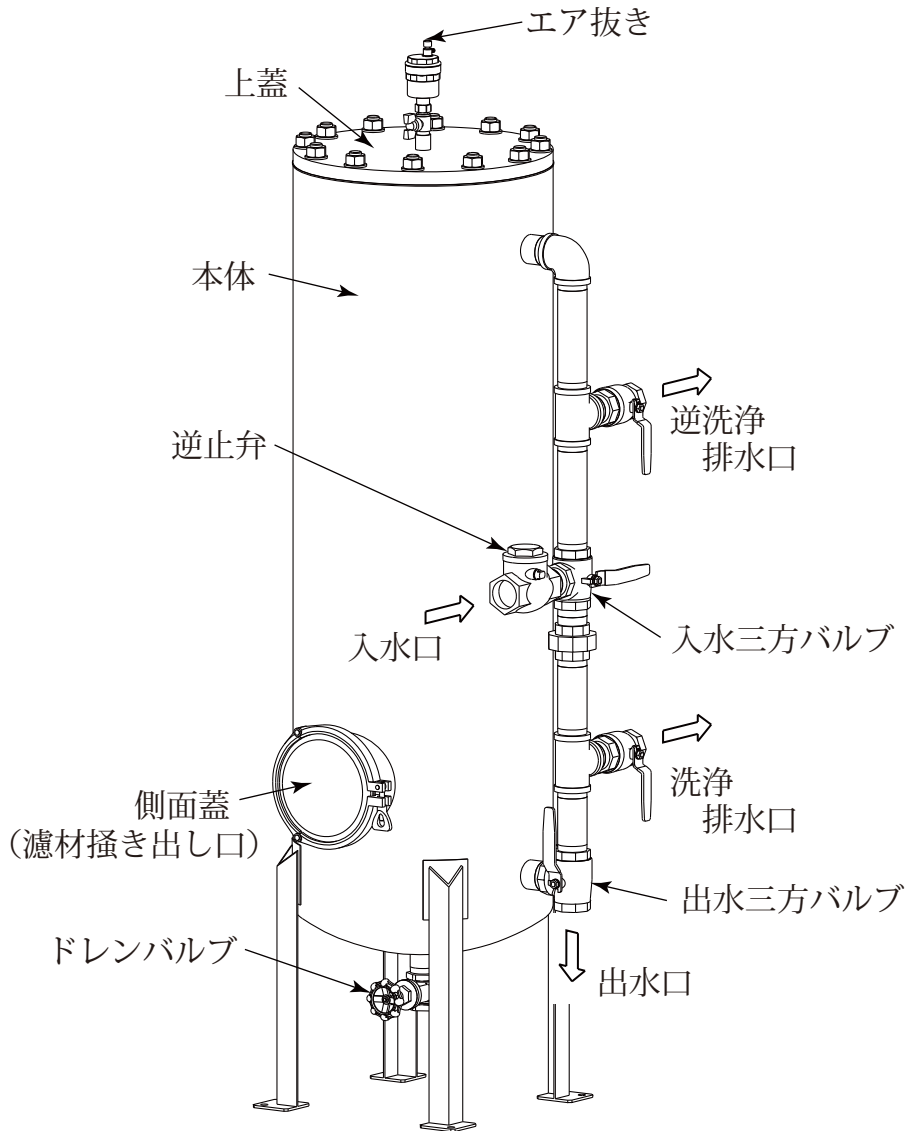
ご使用上の注意

- (1) ご使用は、飲料適合水だけにしてください。
- (2) 使用水圧 0.5 MPa 以内でご使用ください。(水圧が 0.5 MPa 以上の場合給水側に減圧弁を設置して使用水圧以下にしてください)
- (3) 凍り付く恐れのある場合は、配管等に凍結防止の処置をしてください。
- (4) 使用時(満水時)は 300 kg を超えますので、重量に耐えられる土台に設置してアンカーボルトで固定し、震災等による転倒防止処置を行ってください。
- (5) 濾過装置が故障した場合に使用水量を確保するため、設置する際には必ずバイパス配管を行ってください。
- (6) 大量の赤水を通水した場合、濾材層内部の奥まで大量の赤水が侵入することで詰まります。逆洗浄を行っても、濾材層やフィルタの詰まりがそれほど改善されない場合、使用水量を確保するためにバイパス通水に切り替えてください。
- (7) 井戸水、赤水等で汚れた水道水では、濾材の浄化能力が極端に短くなります。
- (8) 受水層・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このようなときは、バイパス通水により水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。
- (9) 軟水装置を給水側に設置される場合、軟水装置の再生に使われる塩水を本濾過装置に通水させないでください。
本体の内部が腐食して水漏れを起こしますのでご注意ください。
- (10) 金魚や熱帯魚などには使用しないでください。
 - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
 - ・濾材の寿命付近でカルキ(残留塩素)の除去が不十分な場合に、魚が死ぬ恐れがあるため。
- (11) 接続する配管径は入水口と同じ 40 A 以下の配管に接続してください。
入水口の配管径より大きい配管径(50 A 以上)に接続すると、使用されていた水量が出なくなります。
- (12) 水道管が鉄配管の場合、赤水が多く流れることがあり濾材層やフィルタが徐々に詰まりますので 3~4 ヶ月に一度、逆洗浄をお勧めします。
 - ・逆洗浄は水道水を濾過器の出水側から流水させるため、通常運転に切り替えた際に、初水に少量のカルキ(残留塩素)が含まれることがあります。異常ではありません。
- (13) 長期間ご使用されなかったときは、逆洗浄を行ってください。

各部の名称

■ 濾過器

※ 入水口・出水口 及び排水口には、バルブソケット(塩ビ)呼び径 40 が付いています。



付属品

アンカーボルト
アース棒

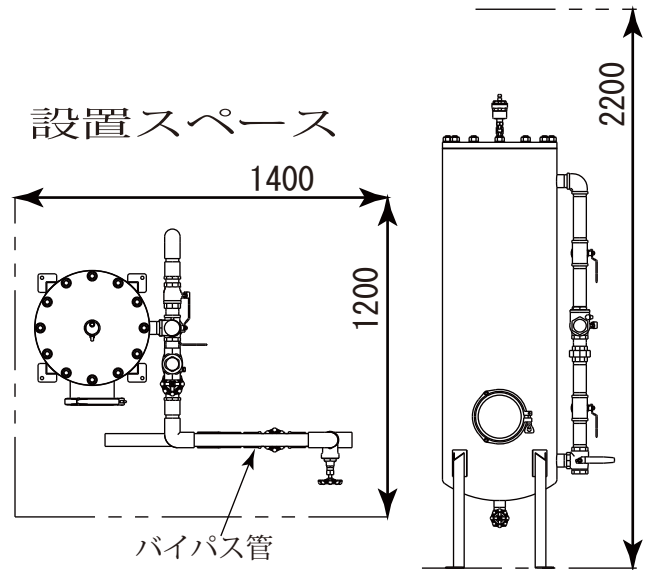
4本 (本体の脚に付いています。)
(本体の脚に付いています。)

基本的設置方法

設置にあたり

濾過装置のバルブ操作および、濾材交換時の必要なスペースを確保するために下記のスペース以上で設置してください。

幅 : 1400mm以上
奥行き : 1200mm以上
高さ : 2200mm以上



1) 濾過器の設置

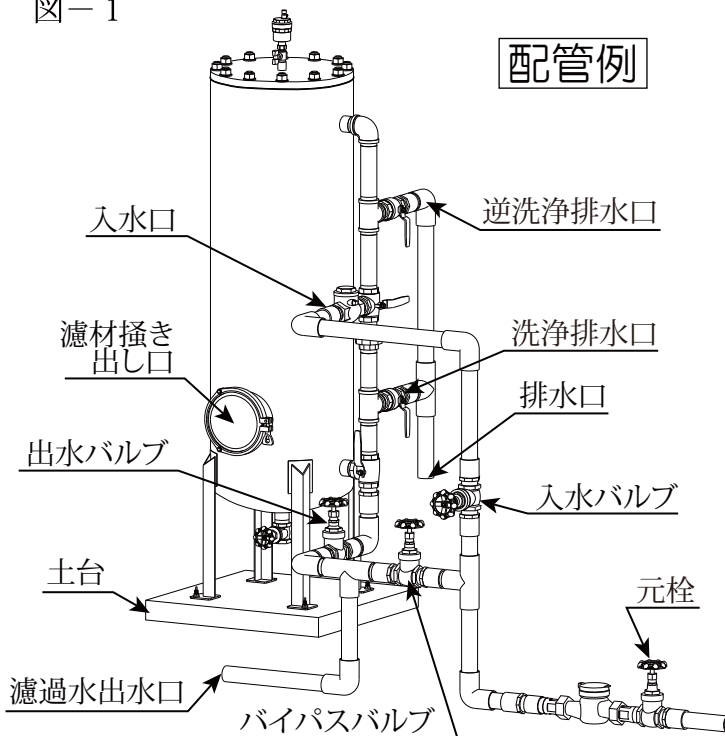
濾過器を安定させるための土台を敷いてから設置してください。

※濾材交換時に、側面蓋を取り外して作業しますので、側面蓋の正面を空けておいてください。

2) 水道管への接続方法

水道の元栓を閉めて、水道管の接続部分を掘り起こし、本体の入水口と出水口に接続します。(図-1 参照)

図-1



※入水バルブ、出水バルブ、バイパスバルブは、取付状況、場所により図と異なる場合があります。

3) 排水管の設置

逆洗浄排水口と、洗浄排水口を接続し、その排水管を周囲の排水口へ向けて配管してください。

4) 通水

元栓を開ける前に、下記バルブを操作してください。

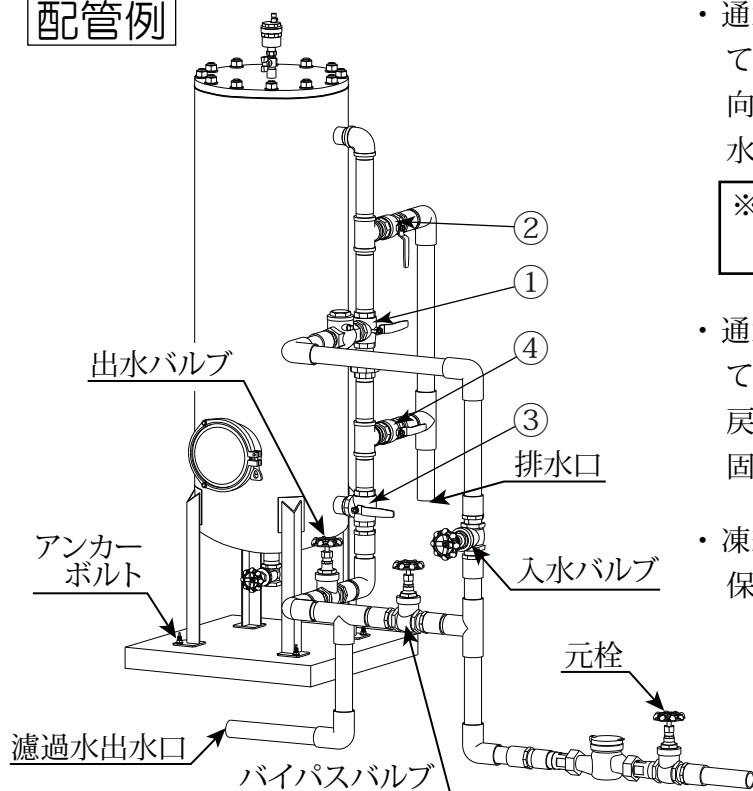
(バルブの開閉及び方向は、バルブのレバーに明記してあります。)

- 1) 入水バルブは、開ける。
- 2) 入水三方バルブ①は、水流を上向きにする。
- 3) 出水バルブは、開ける。
- 4) 出水三方バルブ③は、水流を上向きにする。
- 5) 逆洗浄バルブ②を、閉める。
- 6) 洗浄排水バルブ④は、開ける。
- 7) バイパスバルブを、閉める。

上記のバルブ操作後、元栓をゆっくり開けて通水してください。

通水は、十分行ってください。(時間として、約15分以上は行ってください)

配管例



- 通水後、洗浄排水バルブ④を閉めて、出水三方バルブ③の水流を下向きにすれば、屋内等の蛇口から水が出ます。

※ 11ページの「水の検査方法」による検査を行ってください。

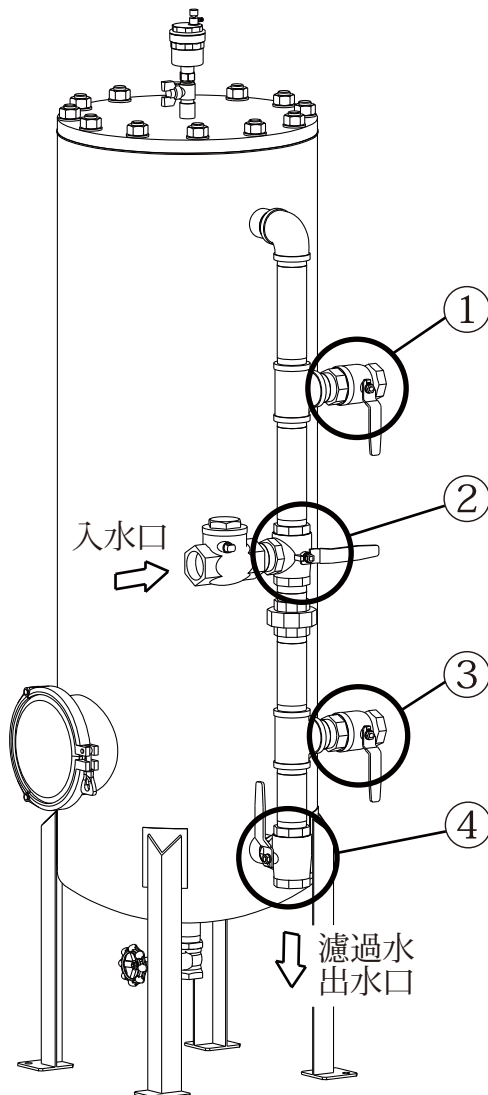
- 通水後に漏水の無いことを確認してから、掘り起こした箇所を埋め戻し、濾過器をアンカーボルトで固定してください。
- 凍結を防ぐため、地上の配管には、保温材を巻いてください。

バルブの操作方法

平 常 運 転

通常運転時のバルブは、下記の通りです。

- ① のバルブ (逆洗浄排水バルブ) は、閉じている。
- ② のバルブ (入水振り分けバルブ) は、水流方向が上になる。
- ③ のバルブ (洗浄排水バルブ) は、閉じている。
- ④ のバルブ (濾過水振り分けバルブ) は、水流方向が下になる。



1. 逆洗浄バルブ操作方法

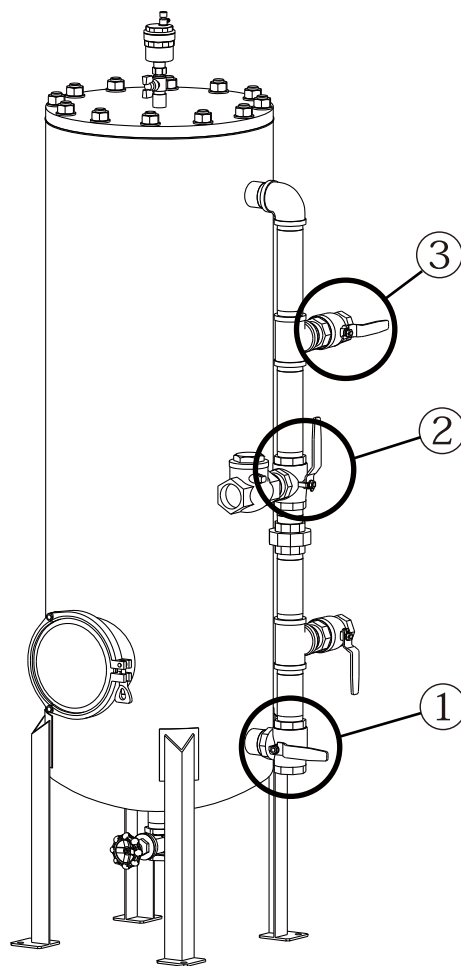
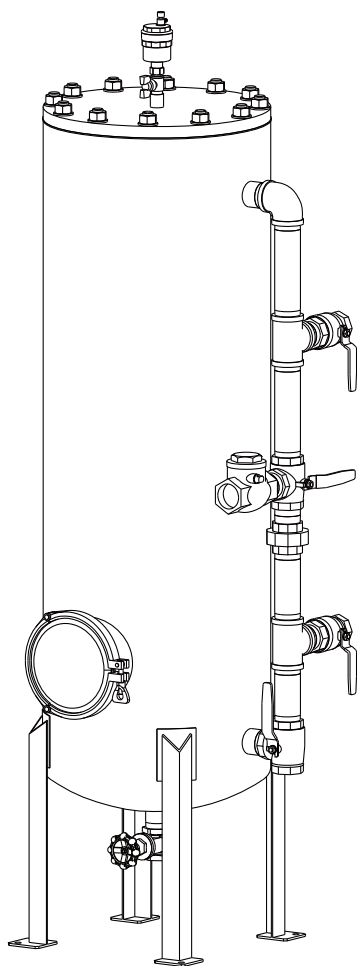
平常運転から逆洗浄を行うときに、3ヶ所のバルブを番号順に操作します。（下図参照）

- ①のレバー（濾過水振り分けバルブ）を横にし、水流方向を上にする。
- ②のレバー（入水振り分けバルブ）を縦にし、水流方向を下にする。
- ③のレバー（逆洗浄排水バルブ）を徐々にたおし逆洗浄水を排水する。
（逆洗浄時間・・・10分間）

平常運転バルブ



逆洗浄バルブ



2. 洗浄バルブ操作方法

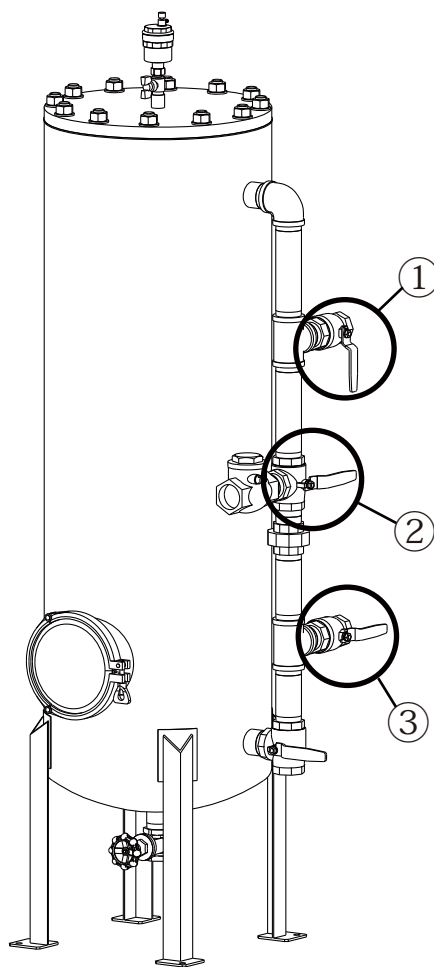
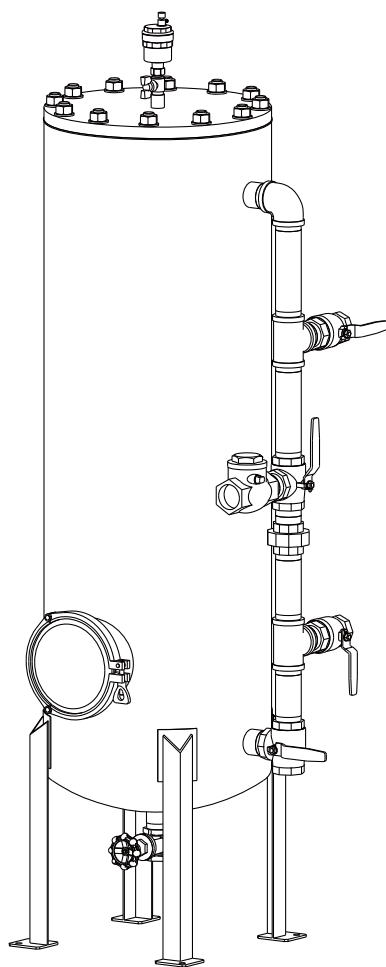
逆洗浄から洗浄を行うとき、3ヶ所のバルブを番号順に操作します。
(下図参照)

- ① のレバー (逆洗浄排水バルブ)を 縦にし、排水を止める。
- ② のレバー (入水振り分けバルブ)を横にし、水流方向を上にする。
- ③ のレバー (洗浄排水バルブ)を徐々にたおし、洗浄水を排水する。
(洗浄時間・・・5 分間)

逆洗浄バルブ



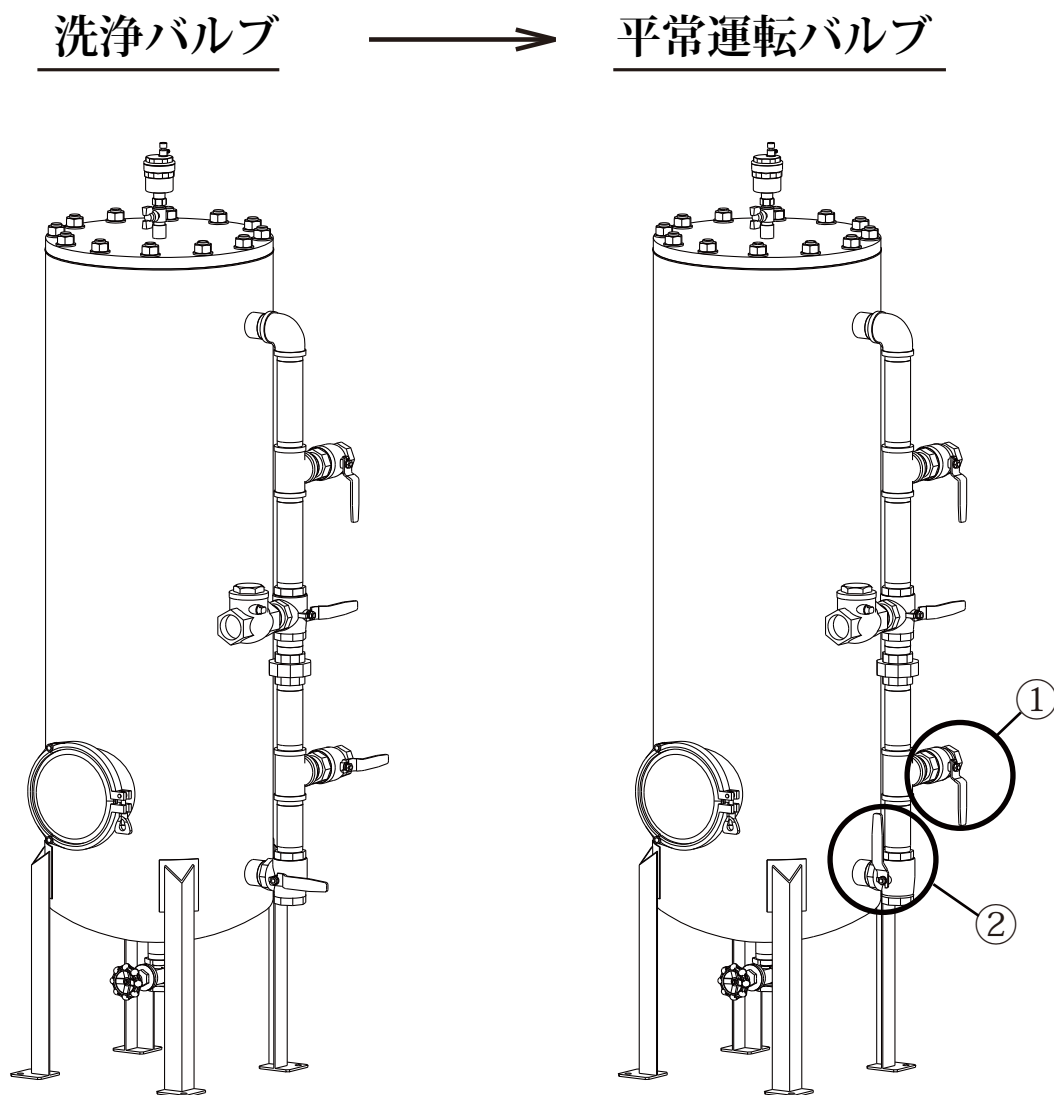
洗浄バルブ



3. 平常バルブ操作方法

洗浄から平常運転を行うとき、2ヶ所のバルブを番号順に操作します。
(下図参照)

- ① のレバー（洗浄排水バルブ）を縦にし、排水を止める。
- ② のレバー（濾過水振り分けバルブ）を徐々に縦にし、水流方向を下にして平常運転にする。



4. バイパスバルブ操作方法

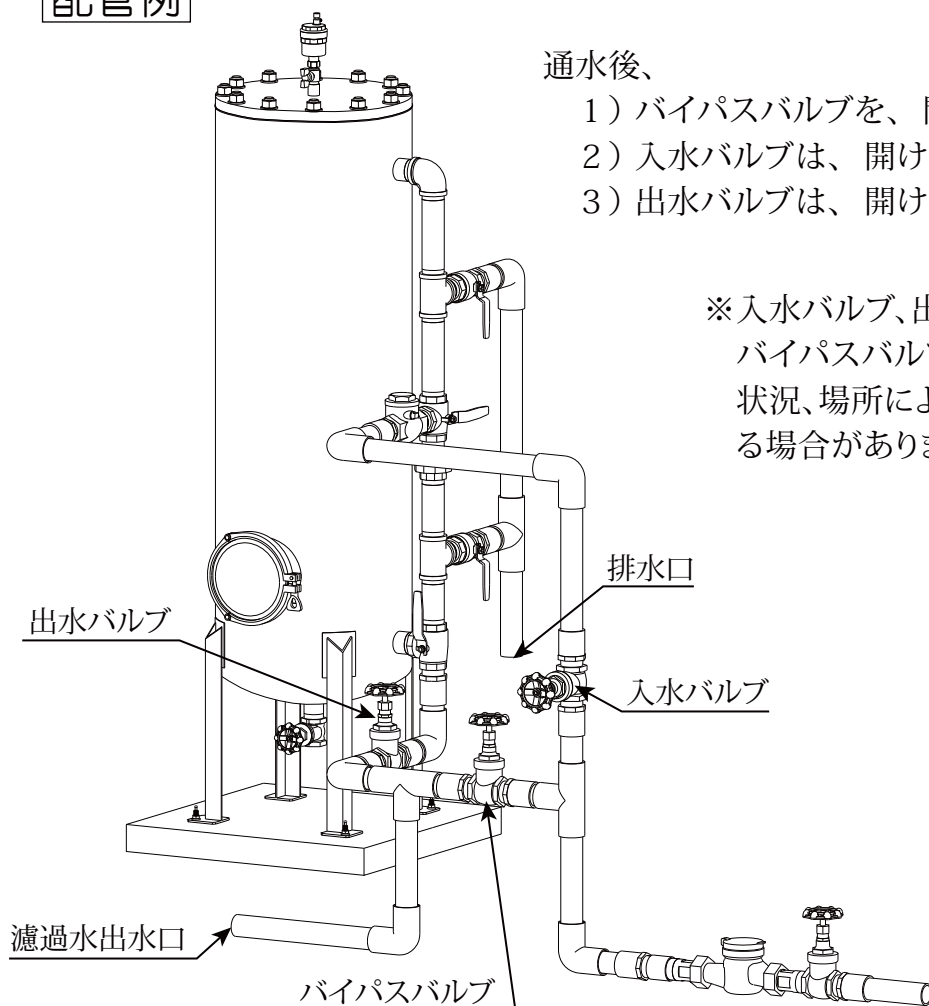
水道工事などにより赤水が流れる場合、直接濾過装置内に通水すると濾材層やフィルタの目詰まり等により濾過能力が低下するので、この操作を行います。
(下図参照)

・バイパス操作

- 1) 入水バルブを、閉めてください。
- 2) 出水バルブを、閉めてください。
- 3) バイパスバルブは、開けてください。

上記バルブ操作後、屋内等の蛇口を開けて、赤水が出なくなるまで通水してください。

配管例



通水後、

- 1) バイパスバルブを、閉めてください。
- 2) 入水バルブは、開けてください。
- 3) 出水バルブは、開けてください。

※入水バルブ、出水バルブ、バイパスバルブは、取付状況、場所により図と異なる場合があります。

水の検査方法

これは浄水された水が正常であるか確認する検査です。

1. コップに浄水後の水（約50cc）を取ります。
2. 残留塩素測定試薬を1袋加えます。
3. かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。
（判定は1分以内で行ってください。）



残留塩素測定試薬

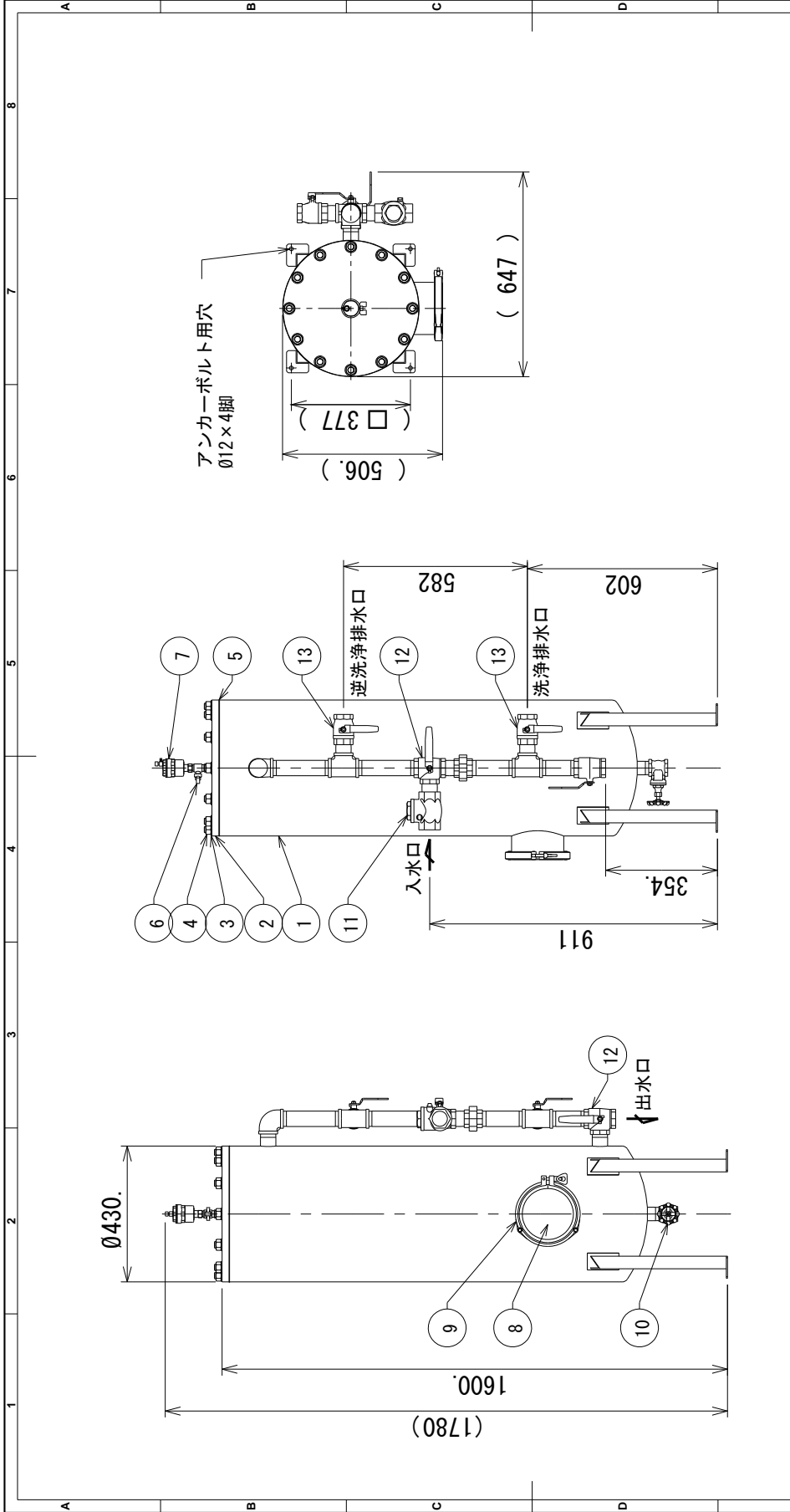
残留塩素試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を判定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンク色に変色します。但し、1分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますのでご注意ください。

* ご注意

- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封してください。
- 試薬が変色したものはご使用にならないでください。
（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流してください。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

仕 様

型 式	MW-33000S
初期流量	160L / 分（動水圧 0.1MPa時）
浄化能力 <small>* 水質の違いにより、浄化能力が異なる場合がございます。</small>	2,630,000L
本体材質	ステンレス
本体寸法（外径φ×高さ）	φ430×1780mm
本体重量	約 195キログラム（未通水時）
濾材の交換時期	1日約3,600L使用で約2年



符号	年月日	改訂	記事	単位	尺度	SCALE
型式	PAIEN-TYPE	MW-33000S	名称	mm	1 / 2.0	
承認	審査	EXAMINE	担当者			
BY	BY					
検図	製図	製図	ライフレクリーン			
BY	BY	関根	本体図			
		2021. 9. 30				
株式会社			図面番号	DRAWING NO.		
エイ・シー・エム				MW33-00-1		A 3

部品番号	品名	備考	数量	材	料
7	エア抜き弁	1 15A			
6	片ナット付ボールバルブ	1 呼び13			
5	バックシン	1 300A 5k (全面バックシン)			
4	ナット	1 2 M20			
3	平座金	1 2 M20用			
2	本体蓋	1 フランジ 5k			
1	本体	1			
13	洗浄・逆洗浄排水バルブ	C3771	2	40A	
12	入水・出水三方バルブ	C3771	2	40A	
11	スイングチャッキ弁	SCS13S/SUS304	1	40A	
10	ドレンバルブ	C3771	1	32A (排水バルブ)	
9	クランプバンド	SCS19A	1	150A	
8	側面蓋	SUS304	1	濾材排出口	

保証書

MW-3300Sをお買上げいただきありがとうございます。
いつまでもご愛用いただけますよう下記保証規定内容で保証し、無料修理させていただきますので、故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

※ 保証期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日の1年間とします。 (本 体)
-----------	--

※ お客様	ご芳名	様
	ご住所	□□□-□□□□
	電話	()

※印欄に記入のない場合、1年以内であっても無償サービスの受けられないことがありますので必ずご確認ください。

器種名※ MW-3300S	製造番号 ※
------------------	-----------

※ 販売店		印
----------	--	---

株式会社 **エイ・シー・エム**
〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL 03-3634-7373 (代表)



保証規定

本書は下記保証規定内容で、無料修理させていただくことを、お約束致します。

- 保証期間は、お買上げの日をもって保証期間の開始日とし1年間と致します。
 - 保証範囲は本体のみとし、濾材やフィルタは含みません。
 - 濾材やフィルタは極めて平均的な条件下で設計されています。短期間(2日以内)におけるフィルター詰まり、あるいは濾材漏れの場合は無償交換致しますので販売店迄ご連絡下さい。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書により正常に使用された場合に限り、保証期間に故障した場合には、無償サービス致します。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - ご使用上の誤り、あるいは取扱い上の不注意、不当な修理改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の取り付け場所の移動、落下および輸送等による故障および損傷。

- 火災、地震、塩害、落雷、ガス害、その他不可抗力による故障および損傷。
- 故障および損傷原因が異常水圧等外部要因による故障および損傷。
- 外観等の自然悪化。
- 本保証書のご指示がない場合。
- 本保証書の記入事項未記入および販売店捺印のない場合。
- カートリッジのトラブルによる本体の交換。
- 日本国外で使用される場合。
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(Effective only in Japan)

※なお、本保証書は、本書に明記した保証期間および各条件のもとにおいて無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

■製造元 **株式会社 エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL. 03-3634-7373 FAX. 03-3634-7384